

令和2年度

第2回 高崎市群馬地域振興協議会 次第

日 時：令和3年1月18日（月）

午前10時30分～

場 所：群馬支所 3階 311会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

（1）群馬地域に関わる事業報告について

（2）群馬地域のまちづくりに関する意見について

4 連絡事項

5 閉 会

<配布資料>

資料1 群馬地域に関わる事業報告一覧

資料2 群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 令和元年度 高崎市決算の概要

群馬地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所 属 (支 所)
1～2	北谷遺跡保存整備事業	文化財保護課
3～5	群馬中央第二土地区画整理事業	区画整理課
6～8	菅谷高畑土地区画整理事業	区画整理課
9	群馬地域のお祭りについて	報告 地域振興課 (産業課) かみつけの里博物館 (地域振興課)

群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	北谷遺跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成12年度～全期	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	史跡指定地の公有地化		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
国指定史跡北谷遺跡(平成 17 年 7 月 14 日指定、令和元年 3 月 10 日追加指定)を適切に保存・管理するとともに、市民共通の歴史遺産として活用を図る。	市民共有の歴史遺産である北谷遺跡を後世に伝えて行くために、史跡地の公有地化を進める。	指定面積 3.8ha 平成 12～15 年度 範囲確認調査 平成 16 年度 調査報告書刊行 平成 18 年度 説明板設置 平成 23 年度 保存管理計画策定 平成 28 年度～ 公有地化	

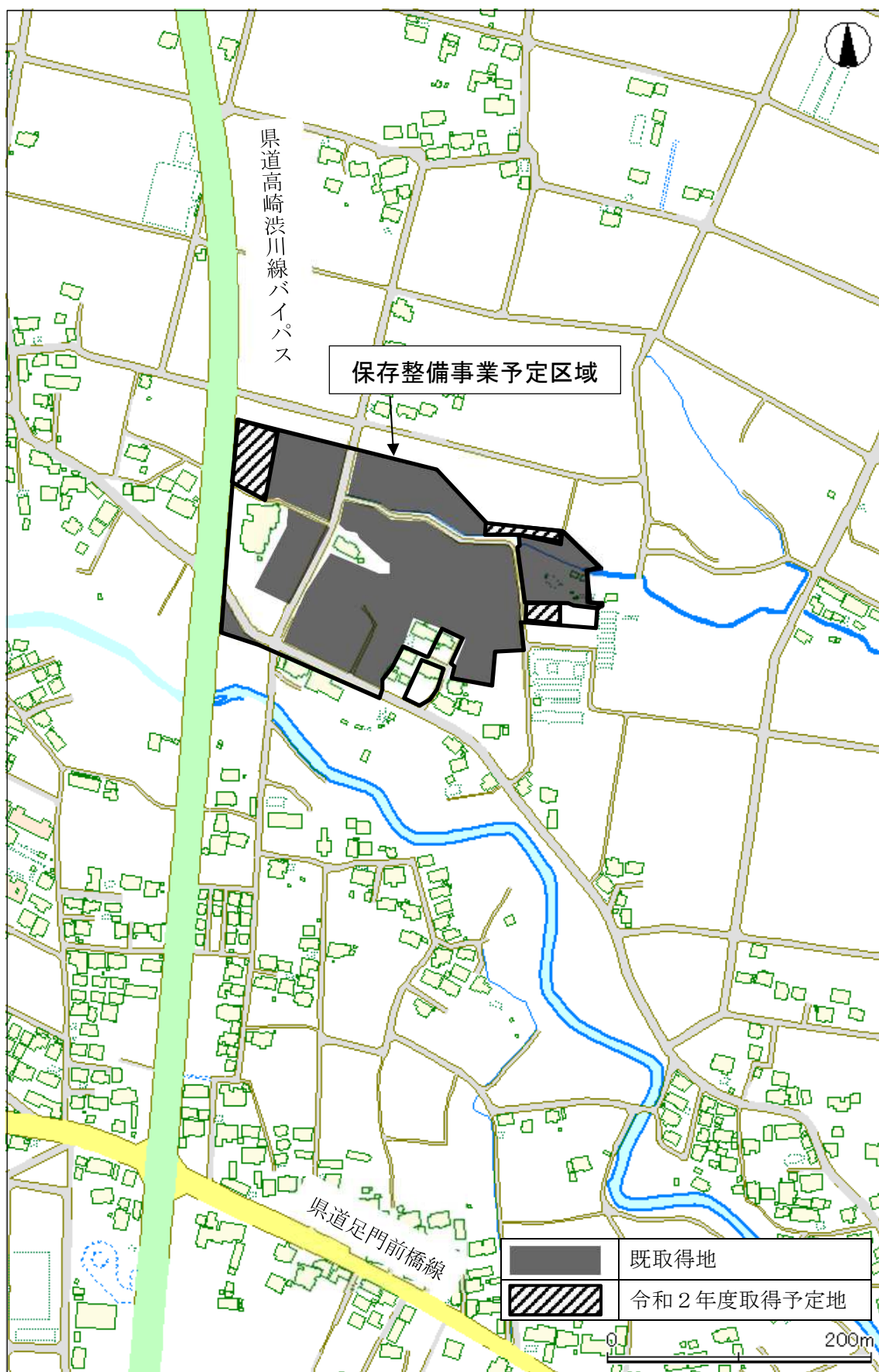
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	令和元年度事業実績
合計	88,586	103,845	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の公有地化(4年目) ・史跡地(既取得地)の除草管理
国	69,005	79,710	
県	5,175	5,978	
地方債	10,200	12,500	
その他	0	0	
一般	4,206	5,657	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和2年度事業進捗状況
合計	37,884	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の公有地化(5年目) ・史跡地(既取得地)の除草管理
国	28,728	
県	2,154	
地方債	4,400	
その他	0	
一般	2,602	

北谷遺跡保存整備事業用地取得予定地



群馬地域に関わる事業報告書

事業名	群馬中央第二土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～令和15年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対象	中央第二土地区画整理事業		
実施目的	具体的手段	その他	
合理的な土地利用と公共公益施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】72.02ha 【総事業費】13,420百万円 【事業進捗率】元年度末 54.3%	

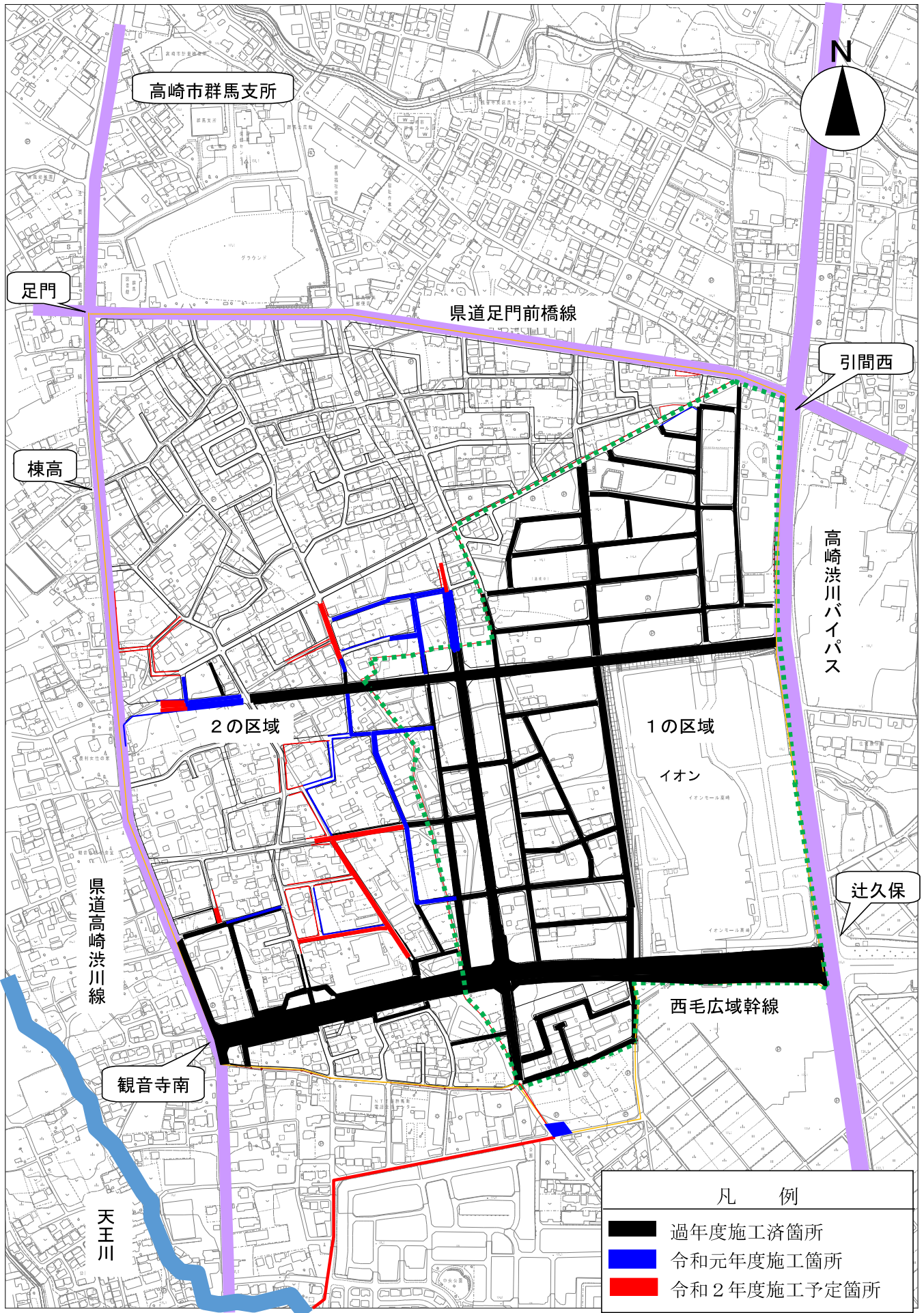
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	令和元年度事業実績
合計	429,051	1,260,473	<ul style="list-style-type: none"> ・道路築造工事外 ・雨水排水路整備工事 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	156,977	586,053	
県	—	—	
地方債	152,900	433,500	
その他	36,781	111,693	
一般	82,393	129,227	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和2年度事業進捗状況
合計	813,636	<ul style="list-style-type: none"> ・道路築造工事外 ・雨水排水路整備工事 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	322,500	
県	—	
地方債	347,300	
その他	69,626	
一般	74,210	

令和2年度 中央第二土地区画整理事業 位置図



① 区画道路 6-132 号線

〔 撮影方向 〕
〔 西から東 〕



② 区画道路 6-122 号線

〔 撮影方向 〕
〔 南から北 〕



③ 区画道路 8-106 号線

〔 撮影方向 〕
〔 北から南 〕



群馬地域に関わる事業報告書

事業名	菅谷高畑土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～令和7年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対象	菅谷高畑土地区画整理事業		
実施目的	具体的手段	その他	
合理的な土地利用と公共施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】21.89ha 【総事業費】4,470 百万円 【事業進捗率】元年度末 93.3%	

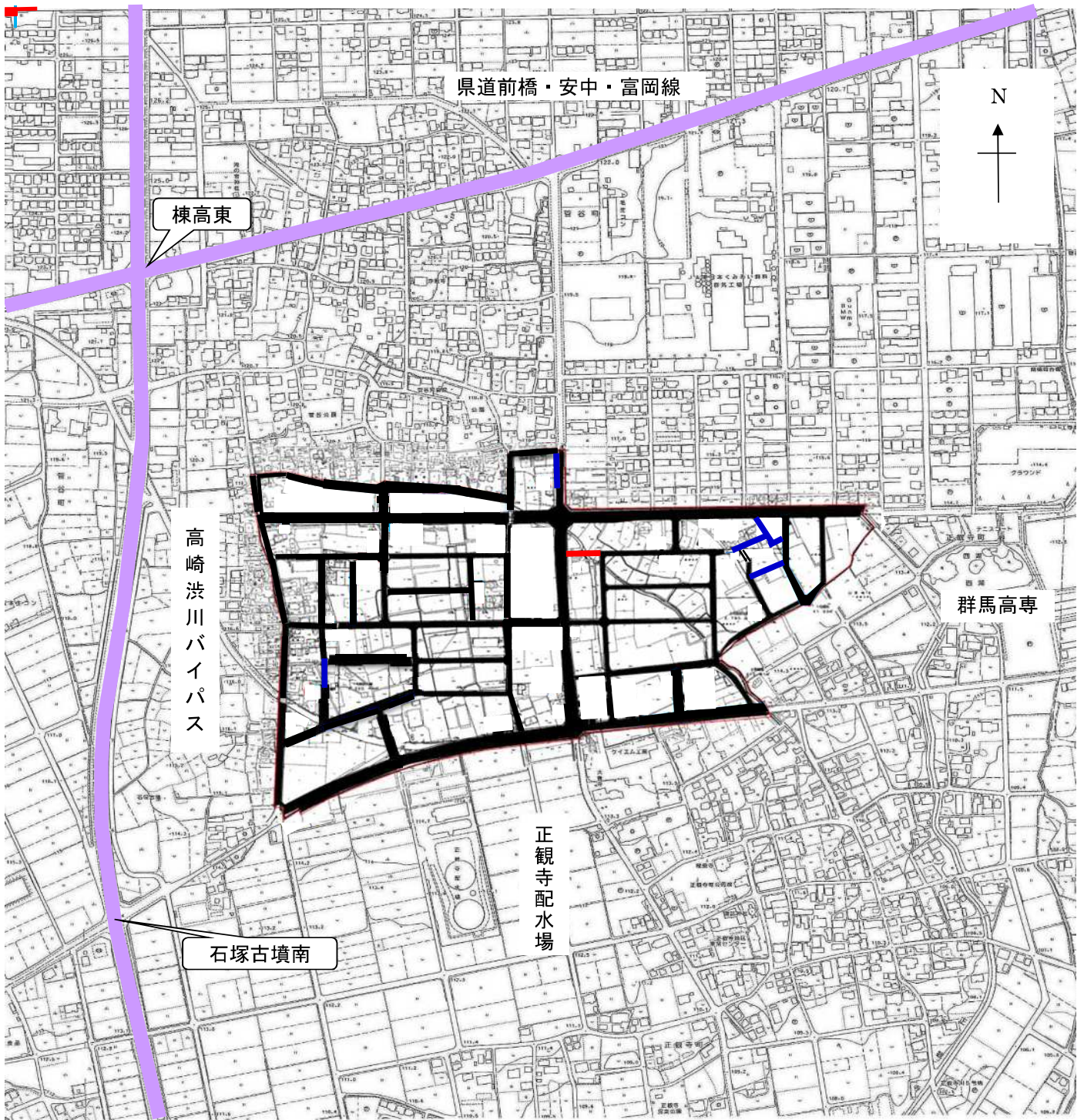
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	令和元年度事業実績
合計	54,480	52,191	<ul style="list-style-type: none"> ・道路築造工事外 ・墓地・工作物移転補償物件外 ・文化財調査業務 ・基準点測量業務
国	3,014	3,014	
県			
地方債			
その他			
一般	51,466	49,177	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和2年度事業進捗状況
合計	42,600	<ul style="list-style-type: none"> ・道路築造工事外 ・建物移転補償物件外 ・文化財調査業務 ・出来形確認測量業務
国		
県		
地方債		
その他		
一般	42,600	

菅谷高畑土地区画整理事業 位置図



凡 例	
	・・・過年度施工済箇所
	・・・令和元年度施工箇所
	・・・令和2年度施工予定箇所



写真No. ①

撮影内容

区画道路43号線

道路築造工事

東方向から望む



写真No. ②

撮影内容

区画道路35号線

道路築造工事

北方向から望む



写真No. ③

撮影内容

特殊道路3号線

道路築造工事

東方向から望む

群馬地域に関わる事業報告書

事業名	群馬地域のお祭りについて	所属 (支所)	(群馬支所地域振興課)
実施期間	令和2年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対象	群馬地域のお祭り		
実施目的	具体的手段	その他	
区域内の施設や公園などを活用して祭りを開催することにより、区域内住民の交流を図るとともに、地域活性化を図る。	区域内の施設や公園などの利用。住民参加型による祭りの開催。年齢層を幅広く参加できる祭りの開催。	ぐんま「はにわの里」夏まつり (群馬支所産業課) かみつけの里古墳祭り (かみつけの里博物館) 上野国分寺まつり (群馬支所地域振興課)	

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	令和元年度事業実績
合計	19,330	19,392	ぐんま「はにわの里」夏まつり R1.8.18(日) ふれあいステージ(郷土芸能・一般参加)、ひまわり迷路等
国			
県	2,500	2,500	かみつけの里古墳祭り R1.10.19(土) 王の儀式再現劇上演、郷土料理・古代米の試食等
地方債			
その他	2,130	2,192	上野国分寺まつり R1.10.20(日) 天平衣装行列、天平衣装の着付体験コーナー等
一般	14,700	14,700	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和2年度事業進捗状況
合計	4,197	ぐんま「はにわの里」夏まつり 新型コロナウイルス感染症の影響で中止
国		かみつけの里古墳祭り 新型コロナウイルス感染症の影響で中止
県		上野国分寺まつり 新型コロナウイルス感染症の影響で中止
地方債		
その他	697	
一般	3,500	

群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

群馬支所 地域振興課

内容区分	意見	回答
<p>中央第二土地区画整理事業の遅滞ない推進を</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、またその対策（各種補償やGo Toトラベルキャンペーン等の経済対策）に巨額の国費や市費が費やされ、行政事業への影響が甚大であることは容易に理解できる。</p> <p>当中央第二土地区画整理事業のスタート段階は計画反対グループの力が強く、事業計画の10年間凍結を余儀なくされた経緯があり、遅れた計画の早期実現に向けての住民・地権者や関係者の期待は殊の外大きい。</p> <p>加えてイオンモール東側隣接地、西毛広域幹線道路北側の地域は今年4月から開発に関する規制が緩和され、民間活力による商業、オフィス施設や住宅（団地）等の建設が見込まれ、イオンモールを中核としたさらなる面的な広がり集積化が進み、高崎市の副都心的な機能や利便性が高まる等、住みやすい街作りが期待される。</p> <p>これらの事業計画の推進は国の経済復興政策や高崎市の群馬地域拠点づくり政策にも合致する。</p> <p>以上の様なことから本事業の遅滞のない推進をぜひお願いしたい。</p>	<p>群馬地域では毎年人口・世帯数が増加しており、生活の利便性や住みやすい街としての認識が高まっている。</p> <p>中央第二地区では地域住民の様々な声に耳を傾け、現道を活かした道路拡幅計画や建物移転戸数の圧縮を図る等、事業の整備方針についても、地域住民の要望を最大限尊重し大幅な事業計画の見直しを行った。</p> <p>事業計画見直し後は積極的な事業投資により、西毛広域幹線道路・都市計画道路・市道などの早期完成に邁進している。</p> <p>今後についても、従前同様に地域住民の声を反映するとともに街づくりに協働して本事業を推進していきたいと考えている。</p> <p>また、毎週水曜日に開設している相談所については、地域住民の意見・要望の窓口として継続して活用していくので、今後とも本事業へのご理解・ご協力をお願いしたい。</p>

内容区分	意見	回答
<p>「おとしよりぐるりんタクシー」について</p>	<p>他の地区で運行されている無料の「おとしよりぐるりんタクシー」の利用状況と反響を伺いたい。</p> <p>また、今後、群馬地区での運行は予定されているか併せて伺いたい。</p>	<p>おとしよりぐるりんタクシーについては、高齢化率の高い、倉淵・榛名・吉井地域で令和2年6月1日より運行を開始しており、毎月延べ1,000人程度の地域の高齢者にご利用いただいている状況である。</p> <p>利用者からは、「運転免許証を返納したので助かっている。」や「通院や買い物に便利に使っている。」などの声をいただいているところである。</p> <p>他の地域での運行については、地域における公共交通等の状況や財政状況を注視しつつ、運行を開始した3地域での利用状況も検証しながら、検討していきたいと考えている。</p>

内容区分	意見	回答
<p>住宅用火災警報器について</p>	<p>群馬県に於いては住警器の設置率が全国的にみてとても低く、その中で高崎市の設置率は群馬県1位であったのに昨年度の調査結果では何位か下がってしまった。</p> <p>群馬地域では人口も増え新築住宅には制度により設置されるが、設置義務のある既存住宅の設置状況また定期的に作動の確認や10年での取り替えの必要性等、女性防火クラブの活動としてこれからも取り組んでいくが、火災から命を守るため住宅用消火器もあわせ、住民の方に御理解いただける啓発をお願いしたい。</p>	<p>はじめに、群馬県は設置率71.4%、全国44位であり低い状態である。当市では設置率80.2%、県内平均を上回っているが、これで満足せずに引き続き、普及啓発活動を行っていくものである。</p> <p>具体的な活動として、毎月10日を「ぐんま住警器の日」と定め、消防署において同日にのぼり旗を設置するとともに、全国火災予防運動の一環として、「ぐるりん」に設置喚起マグネットプレートの取り付けや、ラジオ高崎及び大規模店舗に広報アナウンスの依頼を行っている。</p> <p>今年はコロナ禍で大変なところであるが、高崎市女性防火クラブ様と連携し高崎駅において街頭広報を実施、例年はイオンモール高崎においても行っている。さらに群馬ヤクルト販売株式会社様の御協力のもと、ヤクルトレディに啓発チラシの配付を依頼している。なお、設置についての問合せは、チラシに記載し当消防局職員が対応している。</p> <p>以上が主な啓発活動であるが、今後においても設置率を上げるために、粘り強く、そして効果的な啓発活動を継続し、住宅火災による死傷者を減らし、安全・安心な高崎市を目指していきたいと考えている。</p>

令和元年度高崎市決算の概要について

- 1 令和元年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。
 「一般会計」の歳入は、1,685億7,434万円、歳出は、1,642億1,155万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、計数整理の結果、表内で異同を生じることがあります。

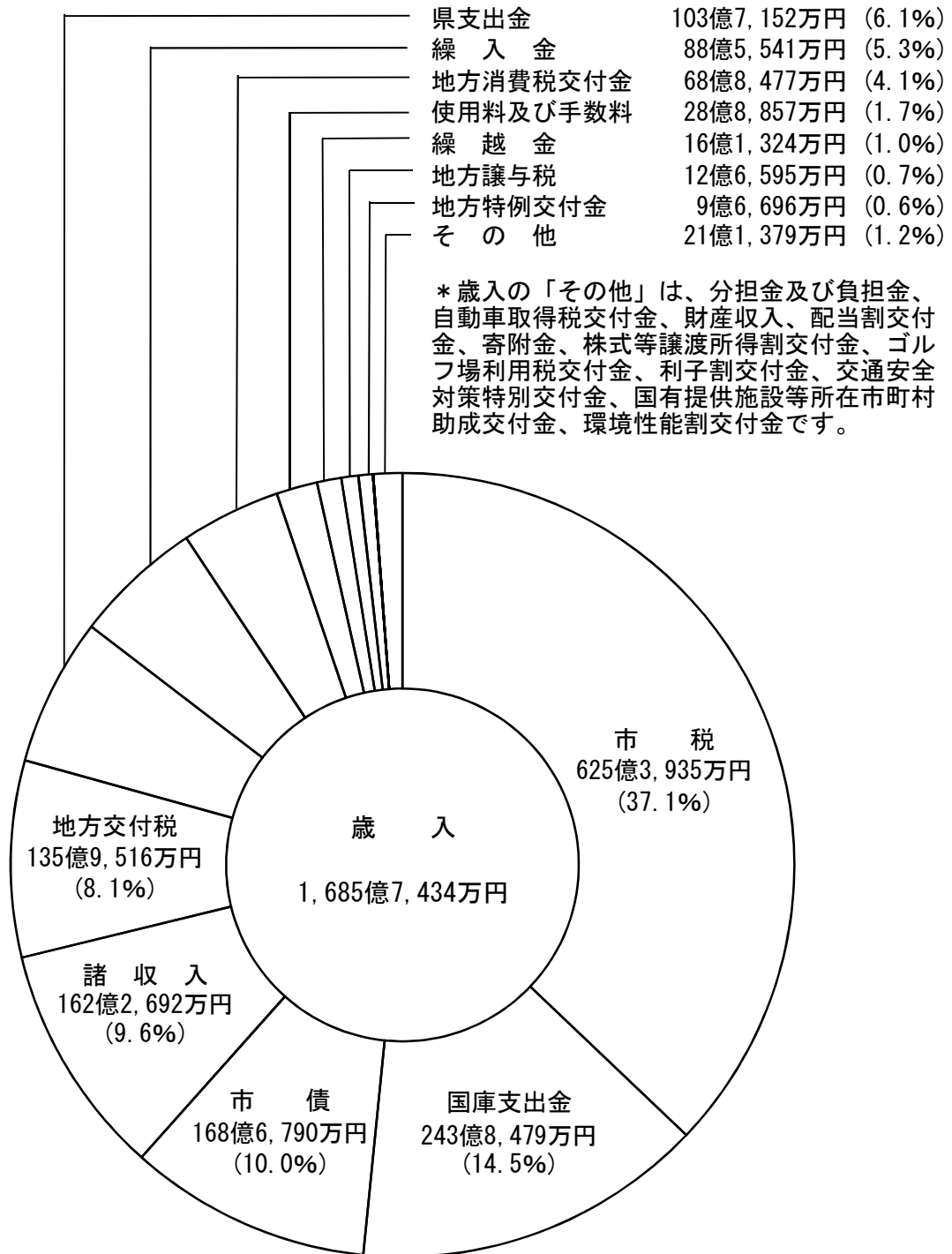
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位 万円)

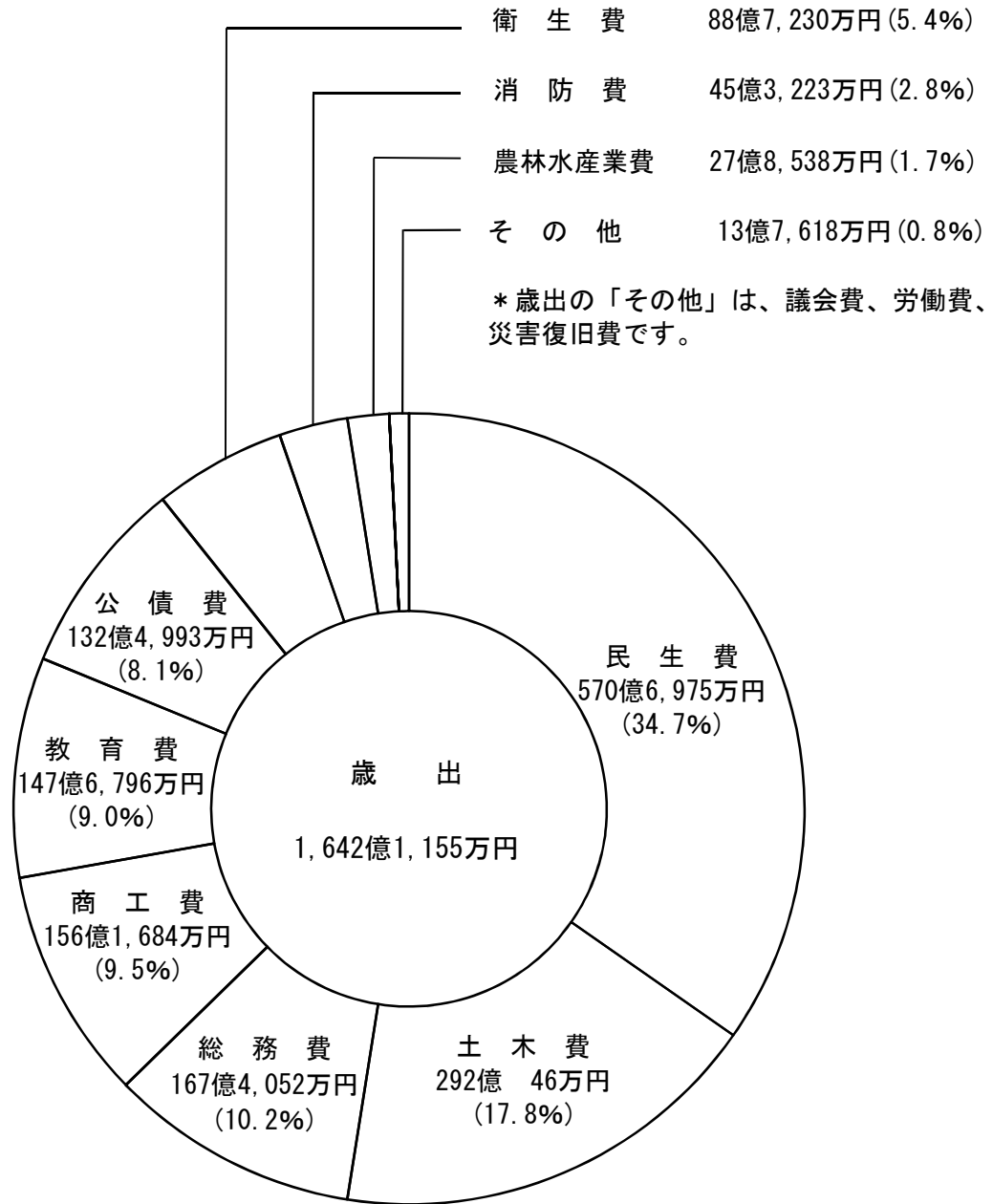
区 分	予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,681億4,000	1,685億7,434	1,642億1,155
特 別 会 計	761億 245	763億5,975	752億3,382
国民健康保険事業	360億7,226	363億1,345	357億 490
介護保険	344億7,375	343億8,505	340億4,369
牛伏ドリームセンター事業	1億3,111	1億2,846	1億1,515
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	5,648	7,152	4,948
後期高齢者医療	47億 767	48億1,063	46億7,263
農業集落排水事業	1億4,098	1億4,237	1億3,972
駐車場事業	1億6,425	1億5,231	1億5,231
土地取得事業	3億5,595	3億5,595	3億5,594
合 計	2,442億4,245	2,449億3,409	2,394億4,537

一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

【歳入】



【歳出】



- ◎ 歳入決算額 1,685億7,434万円 (A)
 歳出決算額 1,642億1,155万円 (B)
 差引額 (A) - (B) = 43億6,279万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額 7億1,053万円を繰越し、さらに財政調整基金へ30億円積み立て、残りの6億5,226万円を翌年度への繰越金としました。

2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳入		(単位 万円)					
区 分	年 度	30年度		元年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1	地 方 税	619億3,080	37.1	2.2	625億3,935	37.1	1.0
2	地 方 譲 与 税	12億4,875	0.7	0.8	12億6,595	0.8	1.4
3	利子割交付金	8,935	0.1	△1.7	4,553	0.0	△49.0
4	配当割交付金	1億9,403	0.1	△22.8	2億2,327	0.1	15.1
5	株式等譲渡 所得割交付金	1億6,183	0.1	△37.2	1億3,305	0.1	△17.8
6	地方消費 税 交 付 金	72億7,795	4.4	5.4	68億8,477	4.1	△5.4
7	ゴルフ場利 用 税 交 付 金	1億2,404	0.1	△2.5	1億2,134	0.1	△2.2
8	自動車取得 税 交 付 金	3億9,640	0.2	2.7	1億9,172	0.1	△51.6
9	自動車税環 境 性 能 割 交 付 金	—	—	—	5,632	0.0	皆増
10	国有提供施 設 等 助 成 交 付 金	3,117	0.0	△0.9	3,061	0.0	△1.8
11	地方特例交 付 金	3億1,793	0.2	15.7	9億6,696	0.6	204.1
12	地 方 交 付 税	133億4,757	8.0	△5.4	135億9,516	8.1	1.9
	普 通 交 付 税	113億6,135	6.8	△6.6	115億2,131	6.9	1.4
	特 別 交 付 税	19億8,622	1.2	2.1	20億7,385	1.2	4.4
13	交通安全対 策 特 別 交 付 金	7,960	0.0	△7.1	7,911	0.0	△0.6
14	分担金・負 担 金	8億2,926	0.5	△16.2	6億4,417	0.4	△22.3
15	使用料・手 数 料	30億6,985	1.9	△2.5	29億 611	1.7	△5.3
16	国 庫 支 出 金	233億7,716	14.0	3.4	243億3,429	14.4	4.1
17	県 支 出 金	108億 4	6.5	△0.3	105億3,662	6.2	△2.4
18	財 産 収 入	2億3,305	0.1	△14.4	2億4,686	0.1	5.9
19	寄 附 金	1億6,288	0.1	17.8	2億7,169	0.2	66.8
20	繰 入 金	60億9,373	3.7	0.5	88億5,596	5.3	45.3
21	繰 越 金	20億3,954	1.2	0.6	16億3,952	1.0	△19.6
22	諸 収 入	173億3,420	10.4	△10.3	161億6,943	9.6	△6.7
	貸付金元利 収入	137億2,516	8.2	△12.5	121億1,394	7.2	△12.0
23	地 方 債	176億1,510	10.6	19.9	168億6,790	10.0	△4.2
	合 計	1,667億5,421	100.0	1.4	1,686億 567	100.0	1.1

歳 出

(単位 万円)

区 分	年 度	30年度		元年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1 人 件 費		203億6,765	12.6	0.8	204億6,542	12.5	0.5
うち職員給		128億7,157	8.0	0.5	131億2,942	8.0	2.0
2 扶 助 費		344億1,305	21.3	0.7	359億1,873	21.9	4.4
3 公 債 費		136億3,864	8.4	△1.5	136億 588	8.3	△0.2
4 物 件 費		193億7,868	12.0	3.5	205億2,035	12.5	5.9
5 維 持 補 修 費		13億4,504	0.8	1.3	13億 925	0.8	△2.7
6 補 助 費 等		170億1,644	10.5	△0.2	184億3,266	11.2	8.3
7 積 立 金		8億5,648	0.5	△11.3	8億 196	0.5	△6.4
8 投 資 ・ 出 資 金							
貸 付 金		137億6,256	8.5	△12.4	130億4,998	7.9	△5.2
うち貸付金		137億1,737	8.5	△12.5	130億2,912	7.9	△5.0
9 繰 出 金		118億4,849	7.3	2.3	120億6,581	7.3	1.8
10 普 通 建 設 事 業 費		291億8,768	18.1	13.4	277億4,995	16.9	△4.9
うち補助事業費		146億2,479	9.0	11.9	130億6,456	8.0	△10.7
うち単独事業費		145億6,289	9.0	14.9	146億8,539	8.9	0.8
11 災 害 復 旧 費		0	0.0	皆減	3億 82	0.2	皆増
合 計		1,618億1,469	100.0	1.6	1,642億2,083	100.0	1.5
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金		49億3,952	—	△3.9	43億8,483	—	△11.2

3 令和元年度普通会計による県内他市との比較

(単位 万円)

区 分	高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市	
人口 (R2.3.31 現在)	372,147人	335,360人	109,490人	213,167人	224,497人	
歳入総額	1,686億 567	1,419億6,766	475億 209	791億4,627	788億6,974	
歳出総額	1,642億2,083	1,389億3,309	451億1,541	764億7,919	762億2,154	
実質収支	36億7,430	21億2,203	21億9,900	25億1,914	19億4,664	
実質収支比率	4.4%	2.8%	8.6%	5.9%	4.3%	
経常収支比率	95.6%	97.9%	96.5%	93.8%	99.1%	
地方債現在高	1,529億5,024	1,540億1,853	345億1,777	708億 181	606億5,699	
実質公債費比率	5.5%	7.9%	4.8%	4.9%	5.4%	
将来負担比率	47.6%	66.6%	—	41.9%	23.4%	
財政力指数	0.857	0.821	0.572	0.848	1.029	
積立金 現在高	財政調整基金	44億1,008	60億6,846	36億7,748	52億 681	99億4,714
	減債基金	10億4,871	243	2億7,352	3,591	11億8,256
	その他	54億3,052	30億8,283	47億 137	23億6,942	3億1,416

※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の、標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近くあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという、年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債(借金)の償還(返済)の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取崩して公債費に充てます。